

アシリチェップノミの儀式の意味を考えるを通してアイヌ文化に触れる学習

札幌市立盤溪小学校 教諭 関谷 ひろの

小学校 第4学年

単元名 「アイヌの人たちの生活と文化」

【1】単元のねらい

本単元においては、「昔のアイヌの人たちは、自然と深く関わり、自然を大切にしている」ことを実感できるように、北海道の地名の意味や、アイヌの人たちの衣服の作り方などを取り上げる。衣服については、無駄なく木の皮を使うことや、未来のことを考えて木の皮を全てはがさず、残しておくことを知る。

本時では、サケをむかえる儀式を行っている意味を考え、自然の恵みを大切にしていることに気付く時間とする。

【2】単元構成（5時間扱い）

○1 アイヌ語がもとになった北海道の地名を調べてみよう

「～別」や「～内」は「川」という意味なんだね

アイヌ語地名がもとになった市町村名が入った北海道地図

アイヌの人たちの言葉がたくさん使われているね

北海道の地名にはアイヌ語がたくさん使われているね。アイヌの人たちは豊かな自然の中で暮らしていたんだね。

アイヌの人たちの文化や生活について調べてみよう。

○2 昔のアイヌの子どもたちは、どのような遊びをしていたのかな。

投げ輪つきや弓遊びをしていたね。

今の遊びとは全然ちがうね。

どうしてアイヌの子どもたちは、投げ輪つきや、弓遊びをしていたのかな。

子どもころから、自然の中で狩りの練習をしていたんだね。

○3 昔のアイヌの子どもたちの遊び（投げ輪つき・弓遊び）で遊んでみよう。

○4 昔のアイヌの人たちは、どのように生活していたのかな。

木の皮を少しはがして使っているね。

1着分には足りないのに、もっとはがさないの？

なぜ、アイヌの人たちは、木の皮を少ししかはがさないのかな。

木が傷まないように少しだけはがしていたんだ。自然を大切にしていたんだね。

○5 新聞記事から、今のアシリチェップノミの意味を考えよう。

札幌の豊平川で行われているね。

サケに関係のある儀式なんだね。

どうしてアイヌの人は、サケをむかえる儀式を行っているのかな？

今でも、サケや自然を大切にしているんだね。私たちも大切にしていきたいね。

【3】本時の目標

記事を読み取る活動を通して、アイヌの人たちが豊かな自然と関わりながら暮らしていることに気付き、昔も今も自然と共に生きていこうとしている思いに共感することができる。

【4】本時の展開（5/5）

子どもの学習	教師の関わり		
○アシリチェップノミの記事を見てみよう。			
ビルが見えるけど…。街の近くかな？	アシリチェップノミの新聞記事	たくさん見物している人がいるんだね。	
あれ？アイヌの人たちが儀式をしているよ。		普段は着ない服をきて、儀式をしているね。	
なぜアイヌの人たちの儀式が、今も豊平川で行われているのだろうか？			
自然への思い <ul style="list-style-type: none">・サケがとれることにかんしゃしている・むだなく使おう・自然を大切にしよう・神さまへのお祈り	昔も今も 自然と共に	昔も今も <ul style="list-style-type: none">・昔からずっと・色んな人に知ってもらいたい・これからも儀式を続けたい	※自然と共生しているアイヌ民族の文化について考えさせる
アイヌの人たちは、昔も今も、サケや自然を大切にしているんだね。			
○新聞記事を書いた記者に、儀式の様子を聞いてみよう。			
みんなとても真剣な雰囲気の中で、アシリチェップノミが行われたんだね。	未来に向けて自然を守っていくことを考えているんだね。	祈りの言葉には自然を大切にしたい気持ちが込められているんだね。	※ゲストティーチャーにはアイヌ民族の文化を後生につなげる大切さについても触れてもらう
○振り返り			

【5】課題探究的な学習を取り入れた授業の充実

子どもが課題の解決に向けた見通しをもてるように、資料となる新聞記事の提示方法を工夫した。4年生にとって新聞記事は難しいので、まずは写真を提示した。すると、「すぐ側にビルがある。」「見物人の市民が多くいる。」等の気付きを生むことができた。次に、「なぜ豊平川で儀式を行っているのか」という課題を解決するための根拠となる本文を提示することで、課題の解決に向けた見通しをもつことができた。